
情報 I No. 05

情報セキュリティ

年	1	組		番		名前	
---	---	---	--	---	--	----	--

第1章 情報社会の問題解決 6. 情報社会と情報セキュリティ

1. サイバー犯罪とは

【実習1】コンピュータや情報通信ネットワークを使った犯罪には、どのようなものがあるか。どのような犯罪があり、どのような対策をすればいいかを3つ調べなさい。

犯罪の種類	説明
(例) ワンクリック詐欺	・Web やメールの URL をクリックすると、契約が完了したかのように見せて、多額の請求を行う

【実習2】上記犯罪の相談窓口として、各府警・県警のサイバー犯罪対策室などがある。自分の住んでいる府県の上記ホームページを確認し、注意喚起情報を調べてみよう。

Web 名	
掲載されている 注意喚起情報 (2つくらい)	

【知識の整理】

① () = コンピュータや情報通信ネットワークを使った犯罪

※ (サイバーテロ) = サイバー犯罪のうち情報インフラの破壊など申告かつ悪質なもの

② サイバー犯罪の分類

1) () = セキュリティの欠陥や不正に ID・パスを使って侵入すること

※ () = だましたり、盗み見るなど情報技術を使わずに情報を盗む

(例) 他人の ID・パスを利用して不正に SNS などに侵入する

2) (コンピュータ・電磁記録対象犯罪) = コンピュータを不正に操作しデータを改ざんするなど

(例) コンピュータウイルスやマルウェアの作成・提供

3) () = ネットワークを利用して行う犯罪

(例) 違法な情報の送信、掲示板での誹謗中傷、フィッシング詐欺、ワンクリック詐欺

2. 不正なソフトウェア

【実習3】マルウェア（コンピュータウイルス、ボット、スパイウェア、ランサムウェア）は
どうやって感染し、どのような被害をもたらすか。1つ調べて書いてください。

どうやってウイルスに感染するか？	感染するとコンピュータどうなるか？

【知識の整理】

- ① () = 被害を与えようとする悪意を持って作成された不正ソフトウェア
- ・(コンピュータウイルス) = 様々な被害(破壊、送信など)を与えるプログラム。
 - ・(ボット) = ウイルスに感染させたコンピュータを外部から操り、悪用するプログラム
 - ・(スパイウェア) = 情報機器内の情報を収集し、収取者に送信するプログラム
 - ・(ランサムウェア) = 情報機器内のデータを勝手に暗号化し、複合を条件に支払いを要求するプログラム

【実習4】ワンクリック詐欺・フィッシング・ネットショッピング詐欺について、どのような内容かと対策について調べて書きましょう。

	どのような犯罪か？	対策をどうすればいいか？
ワンクリック詐欺・ 架空請求		
フィッシング		
ネットショッピング・ ネットオークション詐欺		

3. 情報セキュリティの確保

【知識の整理】

- ① () = サイバー犯罪・攻撃からコンピュータやネットワークを守る技術
- ・(認証技術) = 利用者するひとがその権利があるかどうかを確認する技術
(例) ユーザIDとパスワードによる認証 → (生体認証)、二要素認証も増加
 - ・(情報セキュリティポリシー)の作成 = ルールや対応など組織としての基本方針
→
 - ・個人の取り組み = 法律を守る、正確な知識による的確な判断

第1章 情報社会の問題解決 7. 情報技術の発展による生活の変化

1. ソーシャルメディアと私たち

【知識の整理】

- ① () = 情報通信ネットワーク上で利用者が情報交換することで成り立つ
- ・ () = 投稿に利用者同士がコメントや評価を付け合い関係を広げるサービス
 - ・ その他の例：ブログ、マイクロブログ、電子掲示板、メッセージ交換、動画共有サイトなど

【実習5】 ソーシャルメディアの利点と課題を3つずつ調べて記入しよう。

利点	課題

【知識の整理】

② ソーシャルメディアと生活の変化

- 1) 背景：情報通信ネットワークの発達とスマートフォンの普及
- 2) 利点：個人の情報発信が可能、災害時の連絡手段 → 社会の中で重要な役割
- 3) 利用時に気を付ける点：

自分の個人情報を守る、悪口・誹謗中傷を書き込まない、他人のプライバシーに配慮
著作権を侵害しない、利用のルールを決める、健康に配慮する・・・

↓

まとめ：ソーシャルメディアは便利、注意点を意識し、メリットを生かせるように利用する

【振り返り】 No.6の授業で学んだこと、気づいたこと、考えたことを簡条書きで書きましょう。

☞ 3行以上

--